

カテゴリ:その他

2026年2月12日
第25110号

JAL航空みらいラボ、書籍『やさしく学ぶ ホスピタリティの世界』を出版

～ホスピタリティの本質を体系化し、次世代育成と社会価値の共創に貢献します～

株式会社JAL航空みらいラボ(本社:東京都品川区、代表取締役社長:柏 頼之、以下「JAL航空みらいラボ」)は、2026年2月18日(水)に、書籍『やさしく学ぶ ホスピタリティの世界』を出版します。2025年4月に出版した『[やさしく学ぶ エアライン・ビジネスの世界](#)』に続く、シリーズ第2弾です。



Voice

地域に寄り添い、未来につなげる活動



日本航空株式会社
九州支店福岡支店
JALふるさとアンバサダー
有馬 晶

宮崎県が口蹄疫に見舞われた際、県内から牛の姿が消えた光景を今でも鮮明に覚えています。復興に向けて立ち上がる中、「JAL 国際線ファーストクラスに宮崎牛を採用」という記事が地元新聞の一面に掲載されました。私もJALのフィルターを通して地域課題に向き合う仕事に携わりたい、これがJAL ふるさとアンバサダーを志したきっかけです。

宮崎県北に位置する「高千穂郷・椎葉山地域」は今年、世界農業遺産認定10周年を迎えます。世界農業遺産とは、「人の知恵」や「暮らし方」といった、生きた農業文化を未来へ継承することを目的としています。農業は時代や環境の変化とともに常に姿を変えてきました。昔から受け継がれてきた知恵を生かしながら、より良い形へと進化してきた高千穂郷・椎葉山地域は、その価値が世界的に認められた証と言えます。

10周年を記念し、地域の方々とともに認定地域の認知向上や魅力発信に取り組む中で、世界農業遺産の地が育んだ「八重桜緑茶」が誕生しました。この地域で生産された茶葉に、華やかな八重桜の花びらをブレンドした、香り豊かで見た目にも美しい緑茶です。

今後も地域に寄り添いながら、未来につなげる活動を続けてまいります。



世界農業遺産認定地域、五ヶ瀬町の茶園。緑田のような茶園が特徴
一般社団法人アースリズム
高千穂郷まよとの共同開発
記念シンポジウムにおける
商品発表

現在、多様化する社会課題への対応において、人や組織の「ホスピタリティ」は単なる「おもてなし」の枠を越えた社会の潤滑油としての重要性が再認識されています。本書は、JALグループが長年培ってきた経験を基に、単なるサービススキルに留まらない「個・組織・社会」の3ステップによるホスピタリティ・マネジメントを、豊富な図解とともに解説しています。

特に、現役社員の想いを紹介する「Voice」コーナーでは、地域活性化に取り組む現場をはじめとした多様な事例を掲載しており、航空業界を志す学生だけでなく、教育・観光・サービス業など、これからの社会を支える幅広い層に役立つ内容となっています。

■本書の特徴

- ・体系的な学習構成 : 大学で行っている講義をベースに、個人から組織・社会へと広がる視点を段階的に解説
- ・視覚的な理解を促進 : 概念的な内容も図解やイラストを多用し、直感的な理解をサポート
- ・わかりやすい表現 : 専門用語や理論には丁寧な補足解説を付け、初学者にもやさしい内容
- ・実践的な事例紹介 : JALグループ社員の多様な活動事例を通じて、ホスピタリティの体現を具体的に紹介

■書籍概要

- ・タイトル : 『やさしく学ぶ ホスピタリティの世界』
- ・著者 : 株式会社JAL航空みらいラボ
- ・出版社 : 株式会社インプレス
- ・発売日 : 2026年2月18日(水)
- ・定価 : 1,980円(税込)
- ・詳細URL : <https://book.impress.co.jp/books/1125101090>

JAL航空みらいラボは、本書を通じてホスピタリティの価値を広く共有し、次世代を担う「みらい人財」の育成と豊かな社会の実現に寄与してまいります。